



# シンビジュームの 手入れと管理



Q シンビジュームを  
上手に管理できますか？

YES!

A ポイントを理解すれば  
株分けや植え替えだってできます。

- シンビジュームの形態と名称
- 株分けと植え替え
- 芽かき
- 育て方のポイント

## 芽かき



多すぎる新芽を間引いて、芽のひとつひとつに十分な栄養を与えるための作業で5月ごろに実施します。6号鉢なら新芽を3本ほど残して、あとは取り除きます。また11月にはバルブの基部から出てくる葉芽を間引く、葉芽かきの作業をします。花芽と間違えやすいのですが、花芽がふっくらしているのに比べ、葉芽はほっそりとした形が特徴です。

## ナルホド 大辞典

せっかくのつぼみが、黄ばんで落ちてしまいました。原因がわからないのですが、どうしたら良いのでしょうか。

**A** 栽培温度が高すぎたことが考えられます。室温で育てているなら、夜間の最低温度が20℃を超えた場合、サンルームなら日中の最高気温が30℃を超える日が続いた場合に、つぼみが傷付き、落ちてしまうのです。また暖房機器による乾燥にも要注意です。つぼみが膨らみ始めたら、夜間など暖房をつける時には、廊下などに出してやりましょう。

4月になってから花が咲き始めました。植え替えはいつ行えば良いのでしょうか。

**A** 花が終わる5月ごろには株の生育期に入ります。植え替えて根が傷むと翌年の花は期待できません。今年の花を楽しみたいなら、そのまま肥料を与えて9月下旬に植え替えます。ただしこの場合、株は充実しますが、来年の花はあまり期待できません。来年ぜひ花を咲かせたいなら、惜しいようでも六分咲き程度のところに花茎を切りとって、早急に植え替えをしましょう。切りとった花は切り花として楽しむと良いでしょう。

初心者でもシンビジュームを苗から育てることができるのでしょうか。

**A** 株分けで増殖されていた時には、小さな株でも老化が進んでいて、育てにくかったのは確かです。しかし現在市販されている株は、メリクロン(生長点培養)によってつくられているため、株自体が若く活力に富んでいて、ウィルスの心配もなく、ビギナーでも育てやすくなっています。自分で育てて花を開花させたいなら、高価な開花株より苗からスタートの方がおすすめです。9cmのポット植えの中苗を春に植え付ければ、翌年の秋には花芽が分化します。

## 育て方のポイント

シンビジュームは耐寒性があり、温室がなくても冬越しができます。栽培しやすく、美しい花は寿命が長いので、洋ランの入門花として最適です。十分に湿度を保ち、季節ごとに適した管理を行うなど栽培ポイントを押さえて、チャレンジしてみましょう。

### ●置き場所

5月中旬～10月中旬は戸外の風通しの良い半日陰に置き、真夏は40～50%遮光します。ほかの時期は室内の日当たりの良い場所に置き、最低温度が5℃以下にならないよう工夫してください。

### ●水やり

戸外では、土の表面が乾き始めたら鉢底から水が流れ出るまで与えます。室内では土が乾いてから、暖かい日の午前中に十分水やりし、葉水をマメに与えます。

### ●病害虫

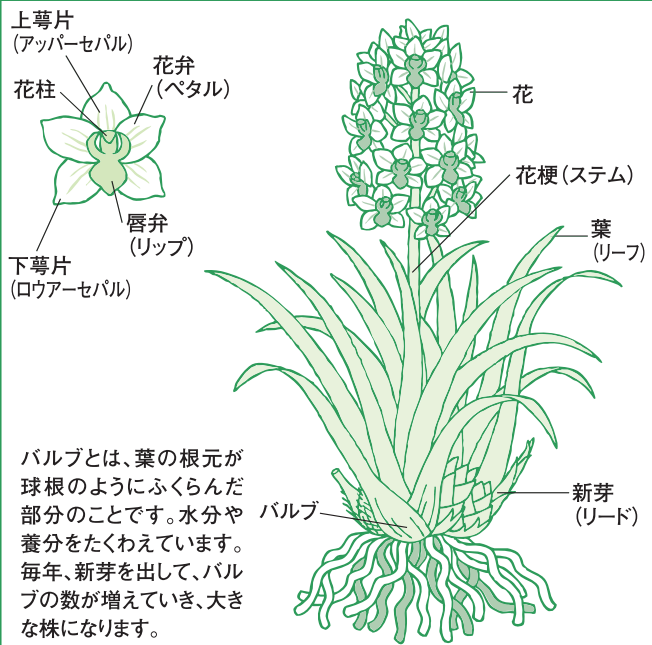
年間を通じて、アブラムシ・カイガラムシ・ナメクジ・ハダニ・軟腐病に注意しましょう。月2回程度、殺虫剤と殺菌剤を散布して防除します。

### ●肥料

肥料を好むので、3～8月まで月に1回緩効性化学肥料を施します。

# やってみよう!

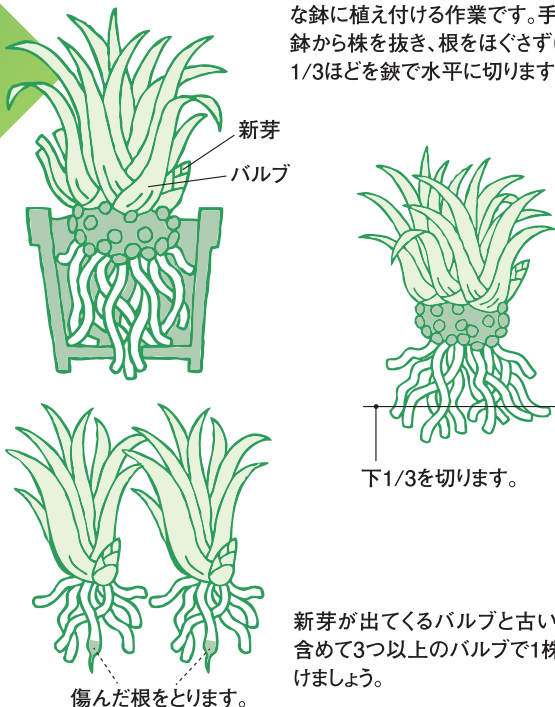
## シンビジュームの形態と名称



## 株分けと植え替え

### ●株分けの手順

大きくなった株を2~3株に分けて、小さな鉢に植え付ける作業です。手順はまず鉢から株を抜き、根をほぐさず下部の1/3ほどを鋏で水平に切ります。



株が鉢いっぱいになり、根が盛り上がり新芽の育つ余裕がなくなったら、一回り大きな鉢に植え替えるか、株分けをします。植え替えは新芽が2~3cmのころが最適で、できれば3月に植え替えて新芽を伸ばしてあげましょう。鉢替えは、毎年3cmずつ大きめの鉢に替えます。株分けは、株の姿を整えたい時や増やしたい時に行います。適期は最低気温が10℃以上になる4~5月ごろです。

### ●植え替えの手順

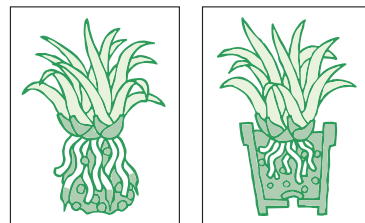
- ①鉢から株を抜く
- ②一回り大きな鉢に粗目の専用土を敷く
- ③細かい専用土を1/4ほど入れ、大粒のマグアンプKを元肥として混ぜる
- ④新芽が伸びる方向を空けて株の位置を決め、周囲から専用土を詰める

### ●植え込み材料

株分けでも鉢植えでも、植え込み材料には良質の専用土を使用します。粒の大きさがL・M・Sがありますが、水はけや通気性に優れたSがおすすめです。

### ●根腐れ株の植え替え

根腐れは肥料を与えすぎたり、水が鉢の中にたまって生じます。株を助けるためには腐った根を全て切り取り、新しい植え込み材料で植え替える必要があります。冬以外なら早めに作業を行いましょう。



冬に根腐れを起こした時は、春まで待つて植え替える方が良いでしょう。  
植え込み後は、翌春まで肥料を与えません。

## ●シンビジュームの管理カレンダー (無加温栽培の場合)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花期 休眠期・生長期				開花期								休眠期
置き場所	日当たりの良い室内				屋外で30%遮光	屋外で50%遮光			屋外	日当たりの良い室内		
水やり	4~5日に1回				1日に1回	1日に2回			1日に1回	4~5日に1回		
肥料	月1回置き肥					肥料を止める						
株分け・植え替え				株分け・植え替えの適期	芽吹き							
病虫害	(カイガラムシ・ナメクジ・ハダニ・軟腐病などの病虫害に気を付ける)											
芽かき	新莖の数を制限するための芽かき			定期的な芽かき				花芽を発生させるための芽かき				

※地域によっては気候条件の違いにより時期が異なる場合があります。

## ワンポイントアドバイス

### 来年も花を楽しむために気を付けておきたいこと

シンビジュームの魅力のひとつが開花期の長さです。しかし長く花を付けておくと、株そのものが弱くなるので、先端のつぼみが開き出したら、花莖の元からカットして、花は切り花として楽しむようにします。また生育期には新芽がどんどん出てきますが、この芽をそのまま育てると栄養が分散し、葉ばかりが茂って花が咲かなくなってしまいます。そこで大切なのが“芽かき作業”です。1個のバルブに元気の良い新芽を1つ残して、ほかは全部かきとります。新芽が出る花後から秋にかけて、欠かさず行いましょう。9月以降は、肥料を与えないようにしましょう。鉢の上の肥料もとりのぞきましょう。